対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ロック・リバー公立小学校学習センター建築計画」
引渡式

２０１９年１月２９日、ロック・リバー公立小学校において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ロック・リバー公立小学校学習センター建築計画」の引渡式が開催されました。

山崎大使は、本計画は将来の社会・経済的発展を実現するための教育環境づくりへの地域住民及び学校の皆様のご努力に協力する事業であり、草の根レベルで支援を提供でき、このように引渡式を迎えることができて光栄であると述べました。質の良い教育環境を世界の全ての人々が享受できるようになることが、人間の安全保障の理念を掲げる日本政府と日本国民の普遍的な願いであり、今後もジャマイカにおいて、持続可能で、より良い生活・教育環境の実現に向けて一層協力していきたいと述べました。

クラレンドン県のロック・リバー公立小学校のある農村地帯では経済的困難を抱える家庭が多く、失業中の青年層が増加しており、十分な教育機会や施設等が少ないことが大きな問題でした。
しかし、本計画でロック・リバー公立小学校に２室を有する学習センターが建築されたことで、同センターは児童の授業に使用されるとともに、放課後は地域住民の識字教育や IT 教育を提供することが可能となりました。これによって、児童と地域住民の教育環境改善及び雇用機会が拡大されることが期待されています。

今般の引渡式には、被供与団体である学校の代表、リード教育・青年・情報大臣、パーネル・チャールズ・ジュニア外務・貿易省国務大臣、国家教育基金等の教育関係者、学校関係者、報道関係者などの来賓が出席しました。

ジャマイカ側を代表して挨拶したリード教育・青年・情報大臣は、日本政府のジャマイカにおける教育分野に関するこれまでの多大な支援に感謝の意を述べました。すべての児童が質の良い教育機会を享受することは、ジャマイカの発展にとって極めて重要で、本計画はその展望に沿ったものであると強調しました。また、被供与団体である学校、地域住民が学習センターを末永く大切にすることを期待しました。そして、日本はジャマイカにとって重要なパートナーであり、これからも連携を続けていきたいと述べ、日本に対して深い感謝を表明しました。

<table>
<tr>
<td>
挨拶する山崎大使</td>
<td>
挨拶するルエル・リード教育・青年・情報大臣</td>
</tr>
<tr>
<td>
ナディーン・レイモンド・シャープ・ロック・リバー公立小学校校長</td>
<td>

踊りで日本への感謝を披露した児童代表</td>
</tr>
<tr>
<td>
テープカットするリード大臣と山崎大使</td>
<td>
日本の支援であることを示す記念盾を除幕したリード大臣と山崎大使</td>
</tr>
</table>